

令和8年8月末の交通事故の特徴

発生件数	11,241件（－435件）
死者数	61人（＋11人）
負傷者数	14,285人（－565人）
飲酒事故	52件（－13件）

【発生件数】

- 発生件数は11,241件（－435件）で微減
- 高齢者関連事故は3,877件（－213件）で減少
- 1当高齢運転者の交通事故は2,854件（－93件）で微減
- 歩行者関連事故は1,497件（＋121件）で約1割増加
- こども関連事故は398件（－19件）で微減

【死者数】

- 死者数は、61人（＋11人）で約2割増加
- 筑豊地区が9人（＋4人）と8割増加、北九州地区が17人（＋7人）と7割増加
- 筑後地区が5人（－8人）と約6割減少
- 高齢者の死者数は30人（＋2人）で全死者数の約5割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が20人（＋3人）と高齢者の約7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は16人（＋4人）で約3割増加
- 飲酒運転事故死者数は1人（＋1人）で増加
- 歩行中死者数は20人（－3人）で全死者数の約3割を占める
- 自転車乗用中死者数は10人（＋4人）で約7割増加

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は52件（－13件）と2割減少
- 筑豊地区が8件（±0件）と横ばい、筑後地区が5件（＋1件）と約3割増加
- 酒気帯び0.25mg/L以上が35件（－11件）と最多
- 6～8時が10件（－4件）と最多
- 令和8年7月21日に施行された道路交通法改正による酒酔い運転の発生は1件

【自転車関連事故】

- 自転車関連事故は1,596件（－156件）と約1割減少
- 福岡地区が992件（－77件）で約6割を占める
- 交差点が1,006件（－133件）で約6割を占める
- 10歳代が490件（－71件）で約3割を占める
- 飲酒運転の自転車（第1当事者・第2当事者）の事故は4件（－4件）と5割減少
- ヘルメット着用率は、中学生が35.9%と高く、成人等が12.8%と低い

注1（ ）の数値は、前年同期比

注2 飲酒運転事故は、一般原付以上の運転者（第1当事者）が飲酒していた交通事故